



応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

平成30年1月1日発行

あい風通信

35号

(学びのスタンプ通算42号)

新年を迎えて

いしかり市民カレッジ運営委員会 委員長 林 一元

新年明けまして おめでとうございます。

日頃多数の皆様がいしかり市民カレッジ講座を受講して頂き厚くお礼申し上げます。当カレッジは本年開校十年の節目の年を迎える事になりますが、これも一重に多数の皆様のご理解ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。「知識は脳の栄養素」とも言われます。今後もより良き講座の提供に努めてまいりますので、これまで同様多くの皆様に受講頂ければ幸いです。最後になりますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新春を彩る4講座！ 1月～3月主催講座

講座14 サイエンス教室～身のまわりを科学の目で見ると～

期日 1月19日(金)・2月2日(金)・2月16日(金) 10:30～

講師 北海道大学名誉教授 山谷 和彦 氏・千葉 忠俊 氏・前野 紀一 氏

身のまわりで普通に起こっていることでもなぜそのようになるのか、新聞・テレビ等でよく聞く事柄はどのようなことなのか等々、よく判らない場合があります。そのような身のまわりの不思議の中から今回は「超電導は何をもたらすか?」、「フオークボール～錯覚の魔球?」および「カーリング・ストーンはなぜ曲がるか?」の三つのテーマを取り上げ、サイエンスの目からわかりやすく解説します。

講座15 日本への異文化の伝来を学ぶ

期日 1月23日(火)・1月30日(火)・2月6日(火) 13:30～

講師 粥見 隆雄 氏 歴史探訪倶楽部・シルクロードの会 主宰

日本への仏教の伝来は、単に仏教が伝わってただけでなく、それにともない数知れない物や文化を日本にもたらしました。商社勤めで長年ユーラシア大陸を活躍の場としてきた講師が、伝来した多くの物の中からお茶とスパイスについて、仏教の話を中心にしながらご紹介します。

講座16 笑って延ばそう健康寿命～笑い与健康の深い関係～(当初予定より期日・講師変更)

期日 3月28日(水) 10:30～ 講師 伊藤 一輔 氏 日本笑い学会札幌支部笑司長

笑いが免疫力を増強し、運動機能や脳を活性化し、ポジティブな心にし、また人間関係の潤滑油にもなるため、昔から「笑う門には福来たる」と言われています。みんなが健康で明るい社会を実現するため、笑いの効用をもっとよく知り、笑いを日常生活の中に積極的に取り入れる必要があると思われます。

そこで笑いと言語モアに関する総合研究を行っている日本笑い学会から講師を招き、笑いについて学習します。

講座17 アイヌの儀礼 (中止になった講座1に代る講座です)

期日 2月20日(火) 10:30～ 会場 花川北コミュニティセンター

講師 岡田 勇樹 氏 札幌大学専門員、札幌大学非常勤講師(アイヌ語)

アイヌの人たちは、生活と深いかわりのある動物をカムイ(神)として大切に扱ってきました。例えば熊の姿をした神が、肉や毛皮などを贈り物として人間世界にやってきます。そこで大いに歓待され、多くの土産物と一緒に盛大な見送りを受けて神の国へ帰っていくと考えました。この「イオマンテ」は、熊を殺す残酷なことではなく、神の霊を神の国へ送り返す儀礼と考えたのです。アイヌ出身の研究者が「アイヌの送り儀礼」について話します。

市民カレッジデータ

(12月22日現在)

○登録者～214人

○連携団体～107団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

平成 30 年度 主催講座概要のお知らせ

平成 30 年度主催講座はカレッジ生の皆様から寄せられたアイデア等を参考に、下記の講座を予定し、開講に向けて準備をしています。講座番号、テーマも仮称で変更もあります。各回のテーマや内容、開講日時、講師などの詳細は決定次第改めてお知らせいたします。

次年度も、いしかり市民カレッジの講座にご期待下さい。

講座 1	騙されないために～騙される仕組みを知る～	3 回予定
講座 2	続・サイエンス教室～身のまわりを科学の目で見る～	3 回予定
講座 3	躍進する石狩湾新港～先端企業を訪ねて～	1 回予定
講座 4	続々・北海道 150 年物語～開拓に尽くした人々～	3 回予定
講座 5	晩秋の中島公園めぐり～豊平館と八窓庵～	1 回予定
講座 6	石狩歴史散歩～本町地区・厚田地区～	2 回予定
講座 7	アイヌの側からみた北海道 150 年	3 回予定
講座 8	北海道のワインを知ろう！	2 回予定
講座 9	北方領土と北海道～道新編集委員による教養講座～	3 回予定
講座 10	大人の遠足～夕張を訪ねて～	1 回予定
講座 11	北朝鮮を考える（現状と今後の展望）	2 回予定
講座 12	博物館はお宝いっぱい！博物館へ行ってみよう	2 回予定

平成 30 年度「まちの先生企画講座」応募講師説明会を開催

11 月 20 日（月）、平成 30 年度「まちの先生企画講座」応募講師説明会を石狩市公民館で行い、5 人の講師が応募されました。

説明会では、各講師から、企画した講座についての内容や意図を詳しく説明して頂きました。その後、「まちの先生企画講座」チームと幹事会で検討した結果、平成 30 年度は、「身近な材料で小物づくり」「お雛様と吊るし飾り」「実践パソコン講座」「筆ペンで住所と名前をマスターしよう」の 4 講座開催予定で進めることになりました。



新規カレッジ生募集中

～今なら特典があります～

今、平成 30 年度会費 1,000 円を納入してカレッジ生になると下記の特典を受けられます。

- ・1 月～3 月の講座を 1 回 400 円（一般 500 円）で受講することができます。
- ・学びの手帳交付と受講ポイントも付きます。

更新手続きのお願い

カレッジ生の皆さま、次年度も充実した内容の講座を企画しています。引き続きカレッジ生として継続して頂きますようお願い致します。

申込・問合せ先

市民カレッジ事務局（石狩市公民館）

☎ 0133-74-2249

新年交流会へのお誘い

1 月 18 日（木）18:00～ 市民プール 2 F

カレッジ関係者（カレッジ生・講師・協賛企業・教育委員会・運営委員等）が集う楽しいパーティです。

例年、歓談する中で新鮮なアイデアを頂き、新しい講座へと繋がっています。今年も何かが生まれる予感があります。（詳細は別紙案内でご確認ください！）

第 18 回修了証授与式のお知らせ

今年度 2 回目の修了証授与式を 3 月上旬に予定しています。お手元の「学びの手帳」でスタンプ数をご確認ください。規定の数に達した方は、手帳巻末の「申請書」に必要事項を記入して、カレッジ事務局（講座受付でも可）に提出してください。

市民カレッジ事務局（石狩市公民館）☎ 74-2249

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんから頂いた感想を要約してご紹介します

講座 8「自然を楽しもう～カーデニングと自然環境～」

・楽しく参加できました。恵み野のガーデニングお見事です。自分では続ける自信がないので、見るだけです感動しました。・オープンガーデンは初めてで、特に、研究村は素晴らしく、どこの家も三角屋根の家で、車庫・庫塀・電柱のない道路と花が見事に地域を作っており、感激しました。

講座 9「私たちの生活用水」

・大変勉強になりました。このような機会でなければ知り得なかったと感謝しています。大切な水、下水、生命の水、このように作られ処理されていると 1 日かけてじっくり学ぶことができました。・上下水道の専門的な学習は小学生から大人まで必要と思いました。浄水場は食品工場だという事はまさにその通りと実感しました。

講座 10「石狩の農業はどう変わってきたか」

・石狩農業の発展のご苦労がとても良く分かりました。とても立派なテキストもありありがとうございました。石狩は水産業が目立っていましたが、農業のあゆみや農産品についてもスッキリと理解できました。感謝!!。・集約化された農業経営と選果作業場を見学し大規模農業の内容がわかり、良かったです。移動のバス車窓から秋の収穫作業や、これから刈り取られる黄金色の水田も見受けられ、農家生まれの私には少年時代がよみがえりなつかしかった。サツマイモ、落花生は初めて見ました。掘り起こし体験もありがとう。

講座 11「温泉をもっと知ろう」

・化学式など学生時代が懐かしくなるような話で興味深かった。・温泉大好き人間でするので大変興味深く、残す 2 回の講座が楽しみでワクワクしています。・「温泉を見分けよう!」は理科実験を思い出す試みで大変新鮮でした。・何度となく訪れた定山溪ですが、今までにない経験ができました。・石英斑岩の割れ目からお湯が湧き出ているとは新しい発見でした。・晴天の秋の一日、素晴らしい思い出ができました。温泉の効能や定山溪の歴史を頭に入れての温泉入浴はとても良かったです。

講座 12「日本酒を知ろう」

・大変良かった。酒造りの工程が良く判り種類も原料米、造り方でいろんな物が有り勉強になりました。小林専務さんの酒造りにかける熱意が伝わり酒を買うことで応援したいと思います。・日本酒の勉強は中々機会がなく大変有意義な講座でした。小林酒造様も貴重な蔵や建物、お話などをいただきありがとうございました。

まちの先生講座 1「スマホで楽しむ趣味のアート写真術」

・お陰で観察力が強化されたと思います。何気なく見過ごしていた物も注意深く見るようになりました。さあ、100 円のマクロレンズを持って出かけよう。

まちの先生講座 2「自分のパソコンを使いこなそう」

・分かりやすく大変良い講座でした。触れるだけの PC でしたが、少し中身が理解できました。もっと時間があればと終わってしまうのが残念です。

まちの先生講座 3「物語とアロマテラピー」

・先生のお話が大変興味深く、楽しく聞く事が出来ました。香料のお話もしかり、作った香りがどのように変化して行くのか楽しみです。

まちの先生講座 4「生前整理に必要なコツと知識」

・なんとなく残された者が良いように処理すればよいと思っていたが、残された者が迷わず悩まず負担をかけないような所から始めようと思う。・問題点と解決法など今後の方向性が見えてきてよかった。



**チョコっと
いしかり学**
《3》

まちのシンボル「石狩灯台」

～最初の点燈から125年～

村山 耀一

石狩河口に建つ灯台は、安政6年(1859)には、すでにランプを使用した常夜灯があったとされ、絵図にも記されています。しかし、本格的な灯台を建設し始めて点灯されたのが、明治25年(1892)年1月1日のことで、今年(平成29年)は125年目になります。

初代の灯台は六角形の木造で外側には三段のやぐらの枠がありました。しかし、傷みが早く灯台の建つ場所の標高が低いため、高さのある灯台が必要となり、明治41年(1908)に鉄製に建て替えられ外観も白一色になりました。

石狩灯台が今の姿になったのは、昭和32年(1957)、映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となった時でした。この映画は当時増え始めたカラーで撮影されました。監督の木下恵介は特に冬の場面で色彩効果を増すために、特別に赤と白の横縞に塗り替えたのです。それが、積雪期に識別が容易であると評価され、その後、北海道や青森県の沿岸灯台で採用されたようです。



石狩灯台は昭和40年(1965)から無人化され、小樽にある海上保安庁第一区海上保安本部が保守、管理をしています。昭和50年(1975)に外周をコンクリートで覆う工事が行われましたが、内部の壁や鉄板は明治41年のまま残っています。石狩川河口部に建つ紅白縞の灯台は四季を通して美しい姿を私たちに見せてくれており、石狩のシンボリック存在です。

こぼれ話 ～100番目の講座は何？

いしかり市民カレッジの開校講座が、平成21年4月23日の「いしかり人物語」であったことは、7月号でご紹介しました。それでは、100番目の講座は何だったのでしょうか？調べてみると、開校から6年目の平成26年5月19日に初回を開催した「まちの先生企画講座～実践パソコン！楽しいお知らせ文書を作ろう！」でした。

順を追ってご説明すると、平成25年度終了時で開校から95講座を行っています。そこで、平成26年度の5番目の講座が100番目と云うことになりますが、この年は5月15日(初回)までに主催講座を4講座開催していて、その次が100番目と云うことになります。それが、最初にご紹介したまちの先生講座になるわけです。

ちなみに、平成25年度終了時には、開校以来開催した合計95講座で、8,292名のみなさまに受講して頂きました。いしかり市民カレッジの平成21年4月から平成26年3月までの5年間は、おかげさまで順調過ぎるほど順調に推移致しました。これも、みなさまのご支援の賜物と、ここに改めて感謝申し上げます。(文・石井滋朗)

＜編集後記＞

「あい風通信」の名前の由来はご存知でしょうか。市民カレッジの前身である「学びのスタンプ」の仕組みが始まった平成19年6月、市内開催の講座の情報を伝えるために冊子を発行することになり、そのタイトル名として石狩地方に昔から伝わる「大漁をもたらす恵みの風」である「あい風」を使うことにしました。幸せの風を皆さんに届けられるよう、編集委員一同、毎号頑張っています。

■ 発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：徳田、石井、三上、光川、鈴木

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL：0133-74-2249 FAX：0133-74-2249

E-mail：kuminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HPアドレス：http://www.ishikari-c-college.com/